

平成29年度 第3回

在宅医療・介護連携推進に関する会議

## 資料 4

議 事

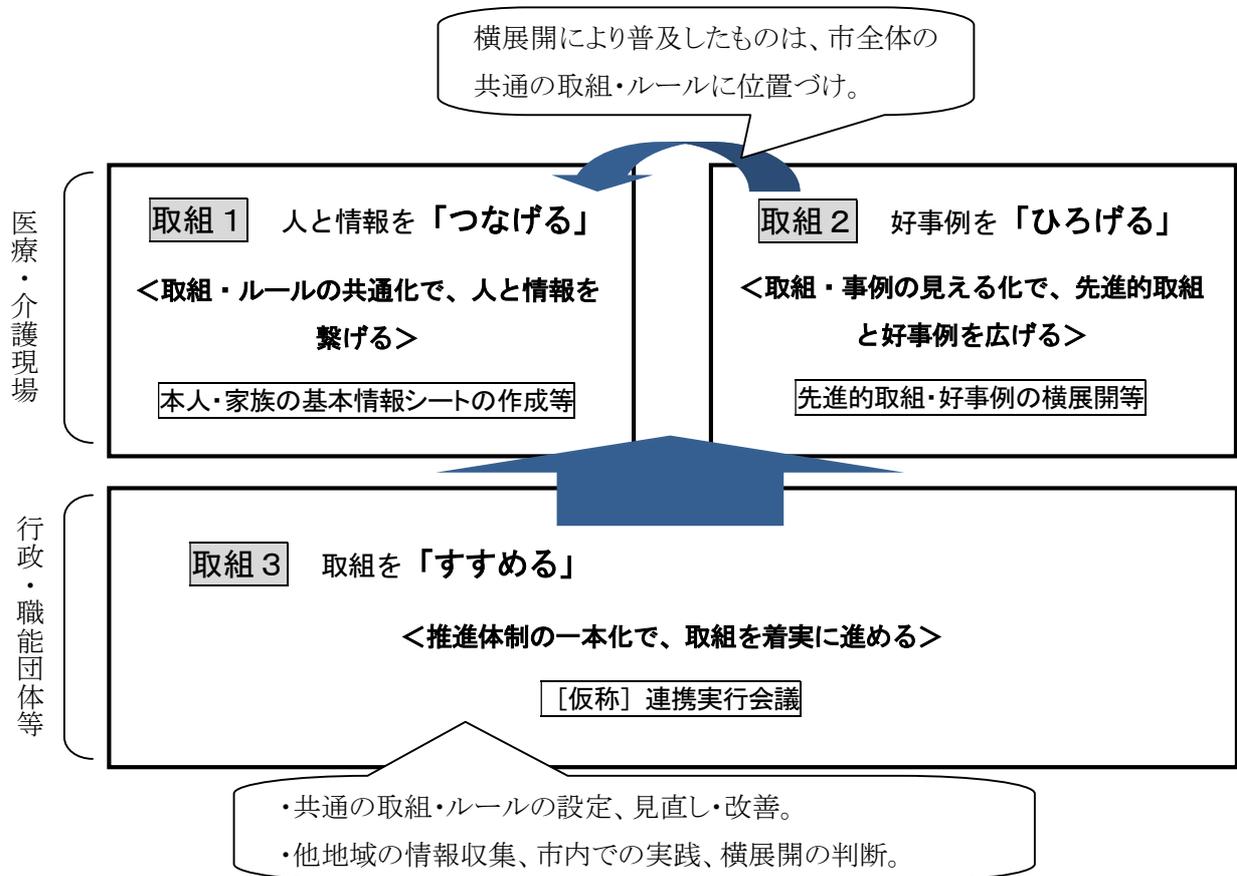
(4) 多職種・多機関連携の今後の進め方について

## 多職種・多機関連携の今後の進め方について

- WGとりまとめの内容について、医療・介護等の関係者の意見を聞きながら、個々の現場や各地域の実情を踏まえ、優先順位をつけて実施していく。
- その際には、以下を目的としていく。
  - ・(新たなことを行うこと自体ではなく)地域の医療・介護関係者や、それぞれの良い取組をつなげ、それを長く継続していくこと
  - ・(ツールやルール・研修等を作り、横展開すること自体ではなく)現場の負担軽減や効率性の向上、患者・利用者本人や家族のQOL・満足度の向上につなげていくこと

### 【今後の取組みのイメージ】

※「在宅医療・介護連携推進に関するワーキング会議 議論のとりまとめ」より



### 【論点】

- ①医療・介護施設や関係者が多い大都市である本市での取り組みを進めるための必要なプロセスや手法について。
- ②多職種・多機関連携に関する情報や課題を地域の様々な関係者・機関の集まり（各種の協議会や勉強会など）から効果的に集約し、また地域に還元するために必要なことについて。
- ③共通の取組（情報共有ツールやルール、研修）などが、属人的な要因や組織の変更等によりやがて形骸化することなく普及・定着させていくための手立てについて。